

堺市報道提供資料

令和 8 年 1 月 14 日提供

第 20 回堺市景観賞受賞対象が決定しました

堺市では、令和 7 年 6 月 25 日付け報道提供資料でお知らせしたとおり、市内の優れた景観に資する建築物、工作物、屋外広告物、まちなみ及び良好な景観形成に貢献する活動を表彰する「第 20 回堺市景観賞」を募集した結果、31 件の推薦・応募が寄せられました。

このたび、市民投票及び選考委員による選考を経て受賞対象が決定し、大賞 1 件、優秀賞 1 件、奨励賞 1 件、まちなみ賞 2 件、市民賞 1 件が選ばれました。

1 景観賞受賞一覧

○大賞 『一般社団法人 泉北レモンの街ストーリー』 活動エリア：主に堺市南区



<講評>

レモンが実る。燐々と日を受けた黄色の果実が青空に美しく映えている。人生も実る。直向きな活動を続けながら、愛情を込めて育てるプロセスが、いまここに生きているという歓びの輪を広げている。そして、街が実る。何世代にもわたって続く街の営みのなかで、私たちはその変化に関わることができるのだということに気づかせてくれる。街の風景はただそこにあるのではない。それは、長い時間のなかで、そこに暮らす人たちの意思やふるまいや共感が実らせたものだ。泉北レモンの街ストーリーは、風景と私たちの暮らしとの関係をつむぎ直し、未来につなげていくことの大切さを教えてくれている。50 年後の泉北ニュータウンらしい風景がここに生まれている。

(武田 重昭 委員)

○優秀賞 『公園モニュメント 風のあいさつ』 所在地：堺市南区宮山台 2-3 荒山公園



<講評>

風の彫刻家として著名な新宮晋が百貨店の屋上のために制作したこのモニュメントは、1996年に堺市へ寄贈され、1997年に現在の荒山公園へ移築された。新池のほとりに佇む姿は、あたかも当初からこの場所にあったかのようである。黄色い帆は背後の緑を際立たせ、小高い位置に据えられたことによる象徴性が、芝生の広がりを一層印象づける。わずかな風でもゆっくりと姿を変えるおおらかなダイナミズムは、当地の景観が四季を通じて見せる変化と響き合っている。モニュメントのメンテナンスから周辺の植栽剪定に至るまで気遣われていることによって、アートと自然が共鳴する堺市の景観を形づくっている。

(倉方 俊輔 会長)

○奨励賞 『しらさぎ子ども図書館 -詩の森-』 所在地：堺市東区白鷺町 1-19-19



<講評>

私財を投じてこどもたちのために開かれた「しらさぎ子ども図書館」は、建築主のまちへの強い愛着とそのまちを未来へ引き継ぐこどもたちへの強い思いを的確に受け止め、地域景観に新たな価値をもたらす秀逸な建築である。敷地南側の高台に位置する白鷺公園へ大きく開かれたガラスファサードは、内部でのこどもたちの活動をまちへと柔らかく映し出し、コーナーに設けられた中庭テラスは周辺へと空間の広がりを生み出している。外装素材の選択や隣接する住宅地との調和など細部に至るまで丁寧に配慮され、世代を超えて心地よい居場所を提供する点が高く評価される。

(高原 浩之 委員)

○まちなみ賞 『大和川リバーサイドサイクルライン』 所在地：堺市堺区香ヶ丘町 5-1-1



＜講評＞

サイクリングロード沿いに自転車を走らせると、住宅街や工業地帯、海へと続く河口の景色の穏やかな移り変わりを楽しむことができる。開けた空間が解放感をもたらす一方で、ときおり橋梁をくぐり、緩やかな坂を上り下りすることで、空間の感じ方にも変化が生まれる。所々に設けられた公園や写真スポットなどでは、ひと息つきながら大和川の風景をゆったりと眺められる。自転車をモチーフとしたモニュメントや街路灯は、自転車産業のまち・堺らしい個性を示す、景観のアクセントとなっている。道沿いには植栽が整備され、春には桜並木やツツジが目を楽しませる。約 8km にわたって続く眺望は、堺の街並みづくりに思いを巡らす機会となるだろう。

(神農 悠聖 委員)

○まちなみ賞 『天高稻荷神社の鳥居』 所在地：堺市南区豊田 865



＜講評＞

いくつもの朱色の鳥居が立ち並ぶ、ゆるやかに弧を描く参道。その先に、大きなクスノキに守られるかのように、天高稻荷神社が建てられている。こじんまりとした素朴なしつらえながら、地元の方々に大切にされてきた場所であることがうかがえる。南区豊田は、石津川沿いに拓かれた上神谷地区の農村集落のひとつであるが、幹線道路にほど近く、市街化が進行している地域でもある。この神社周辺も開発の波にさらされてはいるが、お隣の田んぼでは今も変わらず稻が健やかに育っている。のどかな田園にたたずむ地元のお社。これもまた、大切にしてゆきたい堺市の歴史的風景である。

(林 倫子 委員)

○市民賞『新檜尾公園のメタセコイア並木』 所在地：堺市南区新檜尾台 2-3 新檜尾公園



<講評>

この風景をつくっているのは、紅葉したメタセコイアの素材美だけではない。その場に相応しい地形を整え、谷筋に雨を集めて流れを生み出し、そのうえに適所に植栽された木々が一体となって生み出す風景の構成美こそが、その魅力の根源を支えている。泉北ニュータウンは既存林を保全した公園緑地系統を持っている。それらは単に残されているのではなく、人の暮らしのための場として計画された自然である。デザイナーが美を押し付けるのではなく、人と自然の営みが織り成す美しさを育てるための空間が設えられている。このようなデザインによって、開設から約 50 年の時間を経たいま、風景の魅力がますます増しており、市民に長く愛され続ける公園となっている。

(武田 重昭 委員)

2 第 20 回堺市景観賞 選考概要

○選考スケジュール

令和 7 年 10 月 1 日（水）～11 月 11 日（火）市民投票（電子投票）

令和 7 年 10 月 17 日（金）一次選考（景観賞選考委員会委員による書類審査）

令和 7 年 11 月 4 日（火）～11 月 11 日（火）市民投票（直接投票）

令和 7 年 12 月 17 日（水）二次選考（景観賞選考委員会委員による現地審査）

○堺市景観賞選考委員会委員（敬称略）

倉方 俊輔（会長） 大阪公立大学大学院工学研究科教授

神農 悠聖 大手前大学建築＆芸術学部教授

高原 浩之 公益社団法人大阪府建築士会理事 兼 九州女子大学家政学部教授

武田 重昭 大阪公立大学大学院農学研究科准教授

林 優子 関西大学環境都市工学部准教授

問い合わせ先

担当 課：建築都市局 都市計画部 都市景観課
電話：072-228-7432
ファックス：072-228-8468